

あしとみ

# 安次富 浩さんに

## 辺野古の話を聞こう

‘96年 沖縄北部の辺野古に新基地建設の話が持ち上がる。あれから、「14年」が経つけれど、まだ辺野古の海は美しくあの場所にある。ずっと闘って守ってくれたひとたちがいる。その代表を務める安次富さんには、伝えきれないほど苦労があったと思う。それでも、闘い続けている思いを白鷹でみんなと聞きたくて、今回遠く白鷹まで来て頂けるようお願いしました。

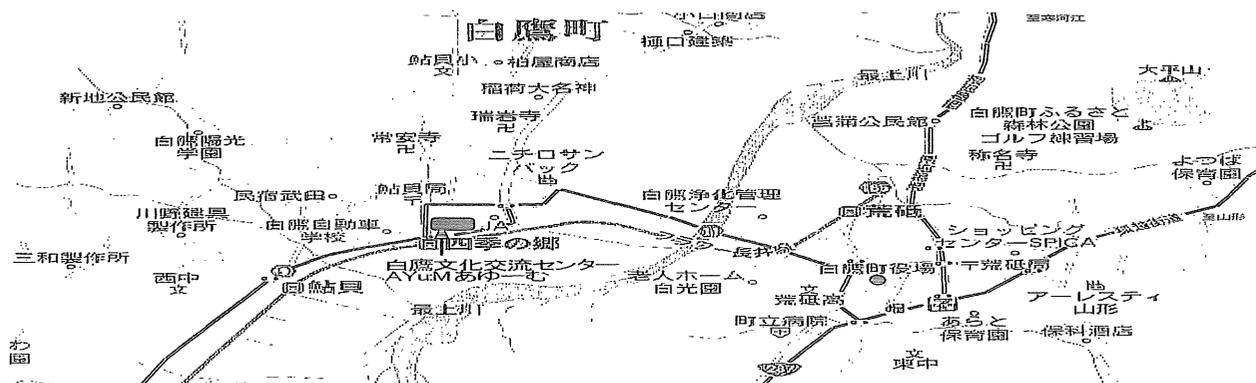
急でお忙しいとは思いますが、遠く沖縄より来て直接話を聞ける機会ですので、お誘い合わせてご来場頂ける様お待ちしております。

日時 2010年2月7日(日)

PM5 00開場 PM6 00開演

場所 白鷹町文化交流センター AYu:M(あゆーむ)

資料代(カンパ) 500円



### ～講演者の紹介～安次富 浩さん

1946年、東京に生まれ、63年に父の故郷 金武町に移り住む。琉球大学史学科卒業後、72年、沖縄県職員となり沖縄県職労などの役員を歴任。82年、一坪反戦地主会設立に参加。97年、ヘリポートいらない名護市民の会設立に参加、事務局長を務め、98年、ヘリ基地建設反対協議会共同代表となる。

協賛・白鷹農産加工研究会

主催・山形ピリカ

問い合わせ 前田 麻子

\*講演終了後、交流会を予定しています。

参加希望の方はご連絡下さい。

Tel 090-6181-5131

[maeda.asako@wave.plala.or.jp](mailto:maeda.asako@wave.plala.or.jp)

### <安次富さんとの出会い>

‘08年私は、初めて沖縄北部にある辺野古に行きました。そこに行って初めて座り込みの基地建設反対行動を’96年からずっとしていることを知りました。だからきっと、安次富さんの私の第一印象は、また分けのわかっていない大和人(ヤマトンチュ)がきたなあと思われたことだろう。全国からやってくる沢山のの人に毎回説明し、仲間を増やしてきたことをすごいと思う。私が行った時、辺野古は、ほとんどヤマトンチュだった。地元の人にとっては、10年もやってられないのは、当然で、そんな中で代表を務めてきた安次富さんには沢山の苦悩があったのではないかと思う。行った頃にはそんな姿は全く見せず、いつも温和にどかんと構えてくれていたから、あの頃の私には考えられなかった。

沖縄での経験は、私を変えました。いつか、白鷹でみんなと話したいと思っていました。そして今回、安次富さんに来て頂いて話を聞くという機会をつくる事が出来ました。

### <私達は加害者>

辺野古の浜で、カヌーを教えて頂き、基地建設の為の調査を止める為、私も一緒に海へでました。海上でみた光景は、そこで生活する為に調査の仕事を請け負う地元の人と基地建設に反対する地元の人との対立でした。地元の人同志で争う姿は、とても悲しい光景でした。「インディアン悲史」という本で読んだインディアン同士を戦わせて潰していく手法と全く同じに見えました。この対立を作り出しているのは、日本政府であり私たちだと思いました。国の決定していることに対して、私たちが何も言わないことで、沖縄はずっと闘っている。自分たちが心地よく暮らしている反面で苦しんでいる人達がいる。とても他人事には思えない。彼らが自分達の意思で決定する権利を持てるのは私たちにもかかっていると思う。

### <命どう宝>と思うなら、基地も軍隊も戦争も いらぬ

新しく米軍基地をつくるということは、新たな戦争を起こすということではないでしょうか？多くの命が奪われるということ。自分の親愛なる人が、自分の宝だという子供が、もし戦場に行くようなことになったら？今、戦線にたつのはアメリカ兵だけれど、同じ人の子だと思ふ。他の国の軍隊を自分たちの見えない遠くに置いて、そこから人を殺しに行くのに、止めなくていいのだろうか？そこを止めずに戦争反対！なんて叫んだところで何の意味があるだろう。自分達に止める力など無いと思っているとしたら、本当にそうだろうか？自分たちの国のことを自分達で決められない国なんて何の魅力もないと思う。

2010年1月19日 山形ピリカ 代表 前田麻子

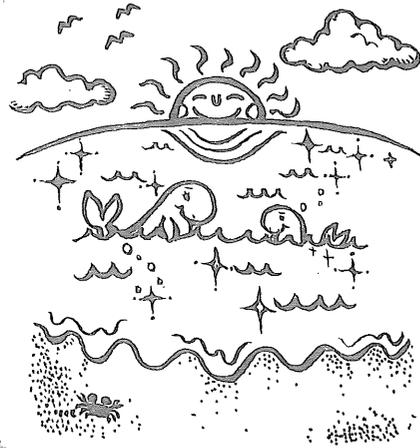


# 沖縄のちゅら海 辺野古に基地は ない

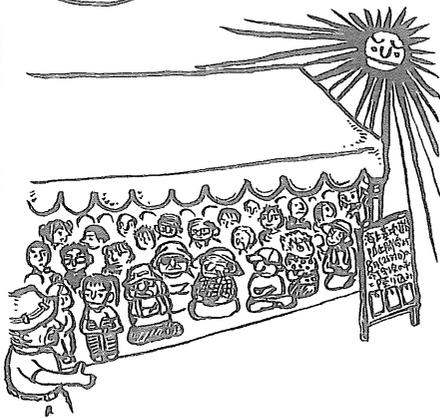


NO BASE HENOKO

ここは沖縄本島北部東海岸にある  
小さな町 辺野古  
ジュゴンの棲む  
美しい海が広がっている



2004年4月、那覇防衛施設局は突然  
辺野古に来て作業を始めようとした。  
そのため、集まった人たちが追いつ返し  
全国からも人々が駆けつけ、その日から  
建設を止める座り込みが始まった。



1996年、この海に米軍の新しい基地を  
造る計画が持ち上がった。  
そして、地元のおじいやおばあちを中心  
に基地建設反対の座り込みが始まった。



2004年9月、建設に向けた海上での  
作業が始まろうとした。  
そのため人々は  
海へ繰り出し  
カヌーや船での  
阻止行動が  
始まった。



1997年、名護市民投票が行われ  
基地建設に対して「反対」が上回ったのだが  
政府はその市民の意見を無視し  
計画は進められていった。



どうかみなさん  
辺野古の海を守るために  
基地建設を止めるために  
力を貸してください!



## 命がけの“闘い”

「どうしても工事をしたいというなら私を殺してからいきなさい。戦前戦後、何も無い時も海のものを食べ、子や孫を育ててきた。この海に基地は造らせません。」  
おじやおばあちは命がけで基地建設反対を訴えている。



## 完全非暴力の“闘い”

殴られても蹴られても絶対に手を出さない。戦争という「最大の暴力」、そしてあらゆる暴力を否定して、完全非暴力で「平和をつくる」座り込み、阻止行動が行われている。

**Q**なぜ、海に出て阻止行動するのですか？

陸からいくら「作業やめて!」「基地建設反対!」と訴えても、作業を止められなかった。“海に出て作業を止めよう”それから海上での阻止行動が始まった。

**Q**カヌーってどんな人がやってるの？

辺野古でカヌーをしている人たちは、泳げない人や腰痛もちの人、そして70歳を超える女性など、海での行動にはおよそ不向きな人たちばかりです。体力的には限界ですが、気持ちだけでなんとか頑張っています。共に行動してくれる人を求めています。

## ジュゴンの海

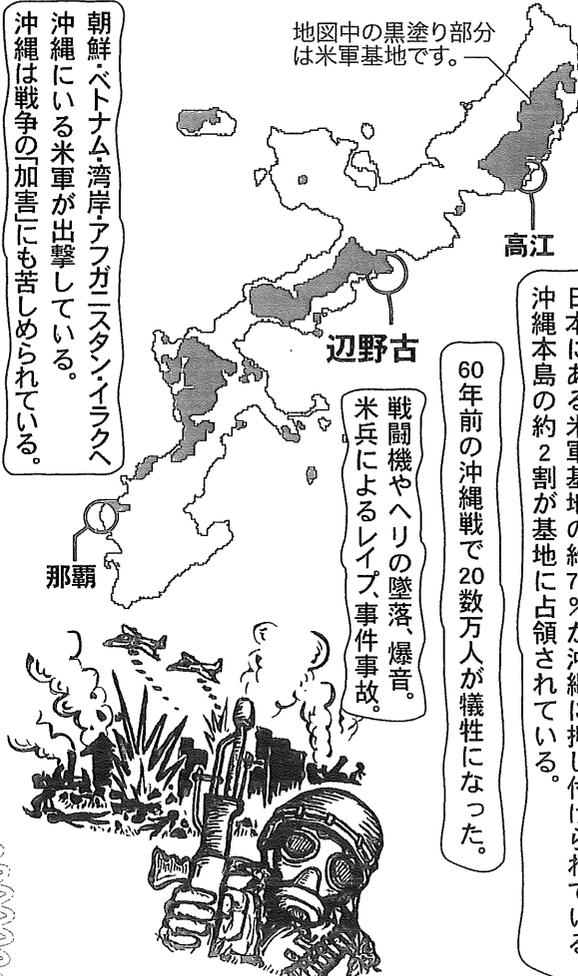
エメラルドグリーンに輝く辺野古の海。ここには絶滅危惧種のジュゴンが棲んでいる。そして、大浦湾にはサンゴやクマノミなど、多様な生物が生きている。この豊かな海を壊して軍事基地を造っていいのだろうか？



## 基地に苦しめられる沖縄

朝鮮・ベトナム湾岸アフガニスタン・イラクへ沖縄にいる米軍が出撃している。沖縄は戦争の「加害」にも苦しめられている。

地図中の黒塗り部分は米軍基地です。



日本にある米軍基地の約75%が沖縄に押し付けられている。沖縄本島の約2割が基地に占領されている。

60年前の沖縄戦で20数万人が犠牲になった。

戦闘機やヘリの墜落、爆音。米兵によるレイプ、事件事故。

全国で  
全世界で



やんばる  
の森を守ろう!

辺野古の少し北にある高江ではヘリパッド建設を止める行動が始まっているよ!

## 基地は必要???

「北朝鮮の脅威」って本当かな?それよりも軍事費世界第5位の軍事大国である僕たちの国日本と、米軍と一緒に戦争してるの、問題ではないかなあ?  
歴史的にみても基地や軍隊っていうのは国民を守らず、戦争するためにあるんだよね。

東京・埼玉・長野・香川県・徳島・京都・大阪・福井・福岡・大分・那覇・名護  
をい、はる各国で 辺野古の基地建設を止めるためのアクションが

始まっているよ!



★辺野古の情報はインターネットでたくさん発信しています。ぜひ、検索してご覧ください!  
★このチラシは辺野古のことを多くの人に伝えるために有志によって製作されました。ぜひ、ホームページからプリントアウトしてどんどん活用してください! (^o^)

辺野古チラシプロジェクト

<http://henokoo.aikotoba.jp/>